

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(家庭)  
／渡邊 廣二

## ■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

## I. 学長の定める重点目標

## I-1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

**1. 目標・計画**

教科専門の授業を担当する立場から、学生が将来小中学校の教員として教科を教える上で必要な基礎的な知識を習得できるよう努める。さらに、学生が教材開発する上で役立つと考えられる知識についても提供する。

**2. 点検・評価**

年度目標に即して授業を行った。

## II. 分野別

## II-1. 教育・学生生活支援

**1. 目標・計画**

講義では、学生が基礎的内容を理解し授業に参加できるように工夫する。卒業研究の演習では、学生が自らの課題解決に向けて研究に取り組むことができるよう指導する。

## **2. 点検・評価**

講義では基礎的知識の習得に努めた。卒業研究では、卒業研究と教員採用試験準備とのバランスに配慮した。

## **Ⅱ－2. 研究**

### **1. 目標・計画**

消費者の自立を支援する消費者教育に関する研究を進める。日本消費者教育学会の中国・四国支部長として学会運営に貢献する。

## **2. 点検・評価**

消費者教育を小・中学校で行うべきの課題について検討した。学会の全国大会開催準備のために計画立案した。

## **Ⅱ－3. 大学運営**

### **1. 目標・計画**

コースの一員としてコースの運営に貢献するとともに、大学院教務委員として大学院の運営に貢献する。

## **2. 点検・評価**

大学院教務委員として大学院の運営に貢献した。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

附属学校との間で行われる教育研究活動には積極的に参加する。教育支援講師や各種講習会講師の依頼があれば積極的に応じる。

### 2. 点検・評価

附属小学校で「買い物」の授業を行った。

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

本学を会場に第58回日本家政学会中国・四国支部徳島大会を開催した。